

27年度 保健体育科

教科書選定の観点

- (1) 保健体育科の目標を達成するために、基礎的・基本的な知識・技能等の内容の確実な習得を図るための工夫・配慮がされていること。
- (2) 思考力・判断力・表現力等を育成し、言語活動の充実を図るための配慮がされていること。
- (3) 自らの健康に関する課題を解決し、健康を管理・改善することができるよう、生徒が意欲的・主体的に学ぶことができるための問題解決的な学習活動が展開しやすいこと。
- (4) 健康な生活を送るために、健康や運動について必要な知識・理解を深化させ、習得した知識を活用した学習が積極的に行えるよう配慮されているとともに、適切な意思決定や行動選択ができるよう工夫がされていること。
- (5) 保健学習について、学習内容の継続性及び系統性を重視し、小学校から高等学校までの学習内容の接続性に配慮されているとともに、単元構成や分量が適切であること。
- (6) 生涯にわたって学び続ける態度を育めるよう、探究意欲を高める工夫や学んだことを活用して、さらに発展的な学習につながるよう考慮されていること。
- (7) 単元構成の系統性・発展性を踏まえ、体育分野と保健分野の関連を図る工夫がされているとともに、他教科、道徳、総合的な学習の時間、特別活動、他校種、また、環境教育、情報教育、生き方探究（キャリア）教育等の教育課題との関連について配慮がされていること。
- (8) 基本的人権の尊重及び道徳性の育成の視点からの内容が積極的に取り上げられ、人権教育や道徳教育の推進に向けて工夫や配慮がされていること。
- (9) 表記や表現について、文章や写真、図表等が適切かつ正確で使いやすいことに加え、ユニバーサルデザインの観点から文字の大きさ、見えやすい色の使用及び紙面の構成などについて配慮がされており、造本についても装丁や編集が適切なものであること。